

2020年10月28日(水)

第12回 医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議

- ・セルフメディケーションにおけるOTCの位置づけ
- ・スイッチ化における利点と課題

独立行政法人 国民生活センター
理事 宗林さおり

セルフメディケーションの推進

自分自身の健康に責任を持ち、
軽度な身体不調は自分で手当てる（WHO）



消費者からみると
食品の機能性表示は広範囲に及ぶが、OTCはそのほとんどがない



医薬品的効能効果を標ぼうしなければ医薬品として判断しない成分本質が多数あり

健康食品に頼り、期待した症状の緩和ができなかったり、疾病の治療開始が遅れることもあり。食薬区分で医薬品・食品どちらでも扱えるものは、原料・成分管理がされているOTCの方がbetter

「保健機能食品」の機能性は、生活習慣病＋認知機能等まで

保健機能食品

特定保健用食品

- ・糖の吸収を穏やかにします。食後の血糖値が気になる方に適しています。
 - ・血圧が高めの方に適しています。
 - ・コレステロールの吸収を抑える働きがあります。コレステロールが高めの方に適しています。
 - ・血中中性脂肪が高めの方に適しています。
-
- ・お通じの気になる方に適しています。
 - ・カルシウム吸収に優れ、上部な骨を作るのに適した食品です。
 - ・貧血気味の人に適しています。
 - ・歯を丈夫で健康にします。

機能性表示食品

- ・食後血糖の上昇を抑制する機能が報告されています。食後の血糖値が上がるのが気になる方へお勧めです。
 - ・血圧が高めの方に適した機能があります
 - ・血中HDLコレステロールを増やす働きが報告されており血中コレステロールが気になる方にお勧めです。
-
- ・手元のピンツ調節機能を助けると共に、目の使用による肩・首筋への負担を和らげます
 - ・認知機能の一部である記憶（知覚・認識した物事の想起）の精度を高めることが報告されています。
 - ・睡眠の質の向上（寝つきの改善、熟眠感の改善、起床時の満足感）に役立ちます
 - ・自己免疫の維持に役立つことが報告されてます

エパデールと機能性表示食品の比較(EPA)

「血中の中性脂肪を低下させる機能が報告されています」という、同様の機能性がうたわれている

区分	銘柄名	一日摂取目安量当たり表示量			うたわれている機能性	
		EPA(mg)	DHA(mg)	EPA + DHA(mg)	中性脂肪の低下	記憶力サポート
医薬品	エパデール	通常1800 最大2700	—	通常1800 最大2700	※主な適応： 高脂血症	
サプリメント形状	DHA1000	14	<u>1000</u>	1014	○	
	EPA&DHA	600	400	1000	○	
	自然に感謝海からの恵み極	100	900	1000	○	○ (DHAのみ)
	⋮					
	DHA & EPA	45	270	315	○	
	エバーライフ[コレステロール・中性脂肪]	25	275	300	○	
	ネイチャーメイド スーパーフィッシュオイル	162	<u>108</u>	270	○	
加工食品 (その他)	健康イクラ	604	722	1326	○	○ (DHAのみ)
	毎日これ1本EPA+DHA1260mgソーセージ	<u>780</u>	480	1260	○	
	すごいネギトロ	200	850	1050	○	○
⋮						
生鮮食品	機能性伊勢の卵	39	352	391	○	
加工食品 (その他)	ポークソーセージ	83	217	300	○	
	瀬戸内かあちゃんの食べる小魚	<u>12</u>	170	182	○	

※消費者庁「機能性表示食品の届出情報検索」(<https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/>)
機能性関与成分が「DHA・EPA」で、販売中の商品を調査。(2019年10月9日時点)

— : 最高量、 — : 最低量

スイッチ化が可能なものについての試案

1. ある程度長期間あるいは定期的に通院してきた疾病で、同じ症状が出た際に処方される薬はOTCで対応してみてもよいのではないか

但し、症状が改善しなければ医師に

また、症状が改善しても半年に1度は通院

2. 安全性に大きな問題がないものは、薬剤師の関与を強化しOTC化してもよいのではないか

薬剤師に研修を行う。販売できる薬局を拠点化する

3. 医師が診断し薬の選択をしたものを一定期間OTCでまかなう

但し、半年に1度は通院（半年間の期間がわかるのものを医師が発行）



オンライン診療との整理が必要

スイッチ化の利点と課題

利点

薬を入手できる時間の範囲が広がる。

薬を入手するのに短時間で済む

薬代が100%消費者の負担で、国の医療費軽減につながる

課題

スイッチ化すれば自動的にネットで購入でき、切れ味の良い薬が濫用される怖れがある。対面販売維持の仕組みを構築できないか

薬剤師の位置づけ

消費者のOTC選択への相談応需を薬剤師がより積極的に実施

消費者からのありがた味の実感 医師との連携・信頼の強化